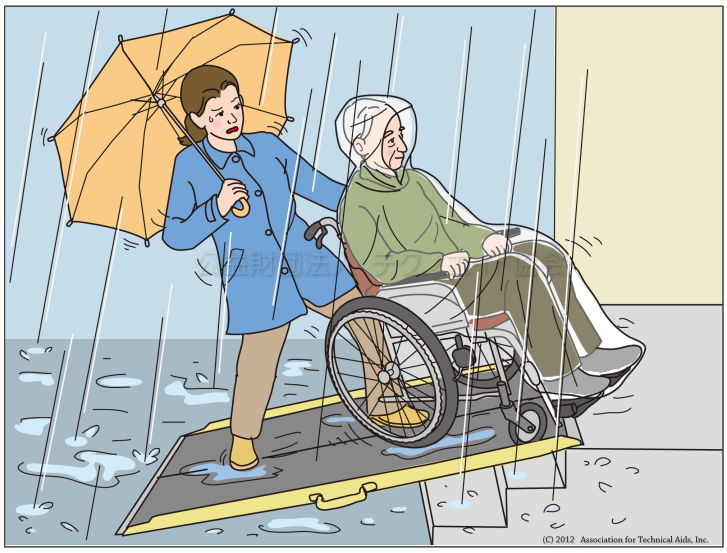
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：288
傘を持ちながら下りようとして、脱輪しそうになる

場面の説明

片手に傘を持ちながらスロープを下りようとしたため、うまく操作できず地面に転落しそうになった



利用シーン	移動 階段の昇り降り
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

スロープの走行面がぬれていてすべり易くなっている要因もありますが、この事例で重視する点は、車いすのブレーキを左右均等にかけなかったことだと思われます。ブレーキは左右別々に機能するものが多く、均等に握らないとまっすぐに止まれない可能性があります。また、調整不足などで左右の効きに差があると同様の危険が起こりやすいので、メンテナンスの際には確認するようにしましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：傘をさしながら車いす介助をしていた
モノ：雨などでぬれるとすべり易くなる

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.